

ゆうあい

あなたがいる、わたし、がある。

APRIL 2025

4

vol.578

特集

理事長ごあいさつ



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



役員紹介

学校法人ゆうあい学園

理事長 祐川暢生 評議員 伊勢一彦
副理事長 中野伊知郎 評議員 島津彰
理事 竹下敏雄 評議員 石戸谷浩二
理事 木村幹雄 評議員 金沢京子
理事 堀浩介 評議員 佐々木若子
監事 西谷裕幸 評議員 斉藤美雪
監事 西本智津子 評議員 紀谷美香
名誉理事長 大場公孝

学校法人ゆうあい学園

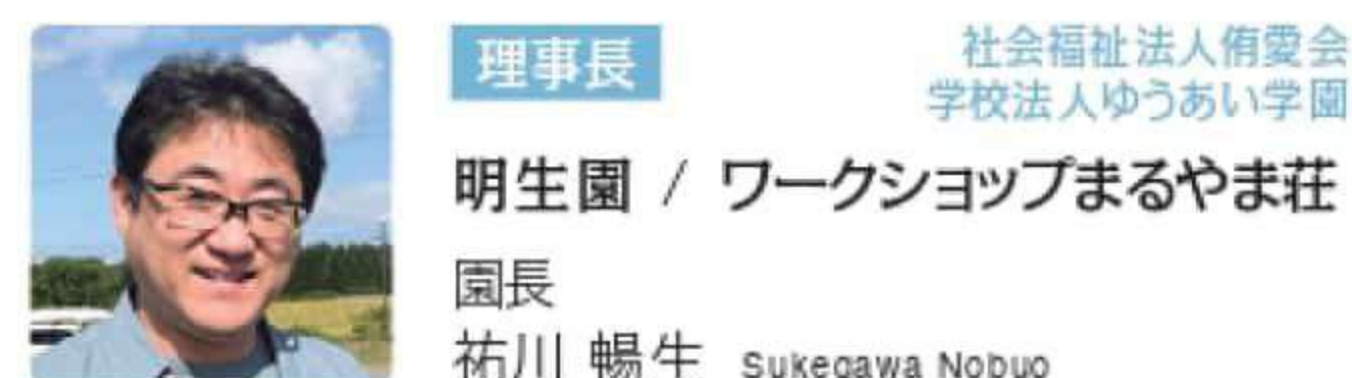
社会福祉法人侑愛会

理事長 祐川暢生 評議員 西川忠弘
副理事長 中野伊知郎 評議員 木村幹雄
理事 竹下敏雄 評議員 伊勢一彦
理事 佐直栄一 評議員 竹原克長
理事 小黒康廣 評議員 島津彰
理事 小谷高大 評議員 石堂正宏
監事 西谷裕幸 評議員 砂土居雅恵
監事 西本智津子 評議員 夏目智志
名誉理事長 大場公孝

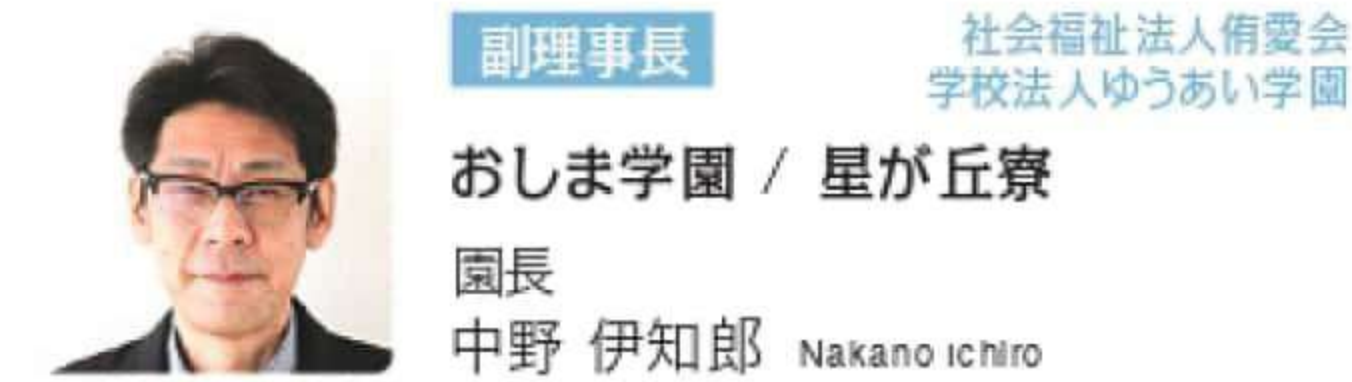
社会福祉法人侑愛会

施設長紹介

令和7年度もよろしくお願い申し上げます



理事長

社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園明生園 / ワークショップまるやま荘
園長 祐川 暢生 Sukegawa Nobuo

副理事長

社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園おしま学園 / 星が丘寮
園長 中野 伊知郎 Nakano Ichiro

事務長

法人本部事務所

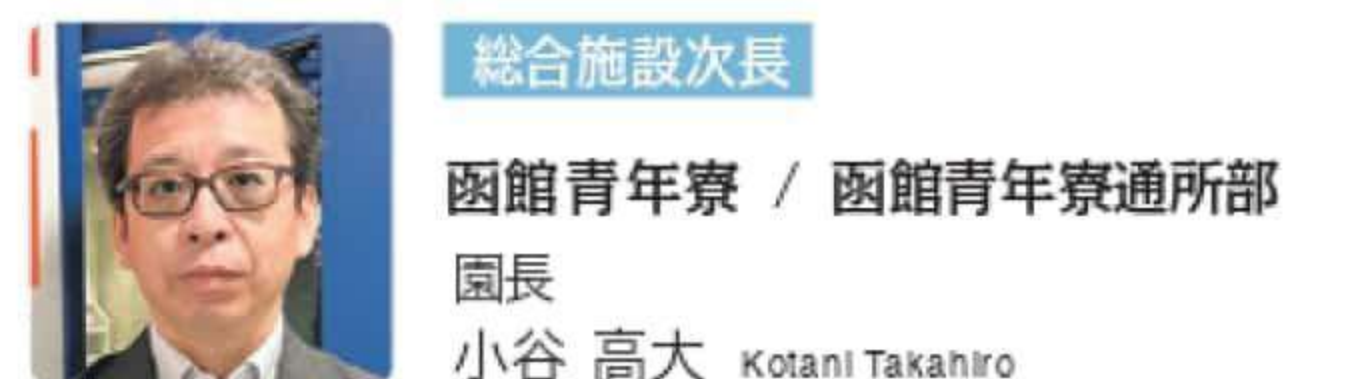
石戸谷 浩二 Ishido Koji



総合施設次長

ワークセンターほくと / サポートカーム

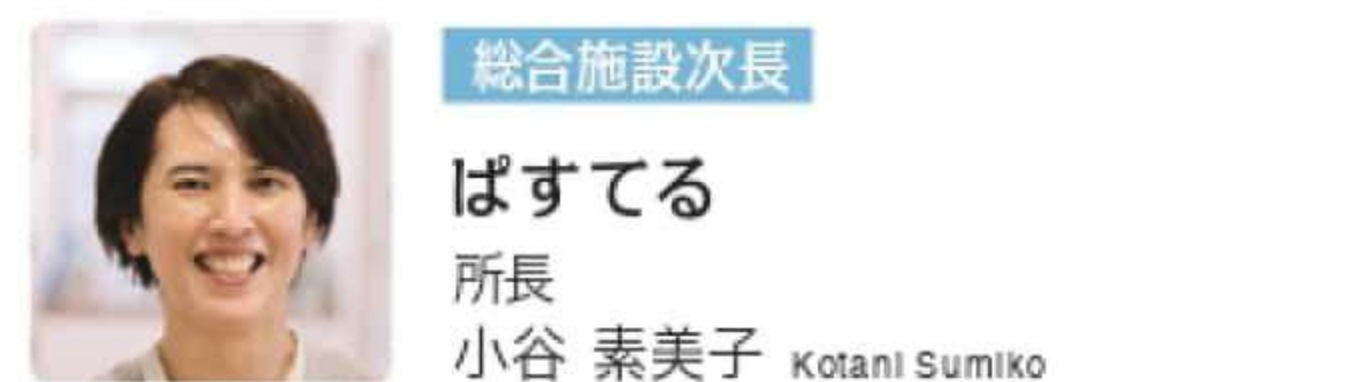
園長 小黒 康廣 Oguro Yasuhiro



総合施設次長

函館青年寮 / 函館青年寮通所部

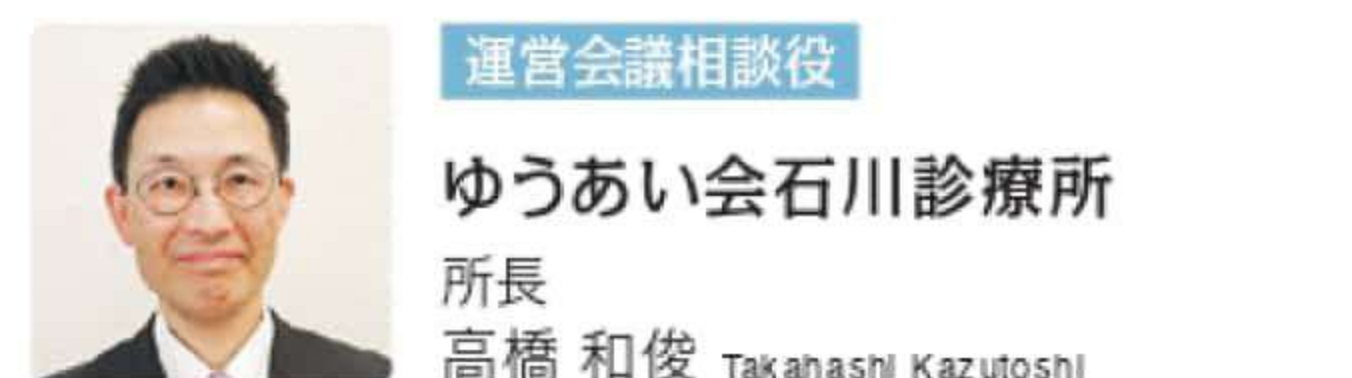
園長 小谷 高大 Kotani Takahiro



総合施設次長

ぱすてる

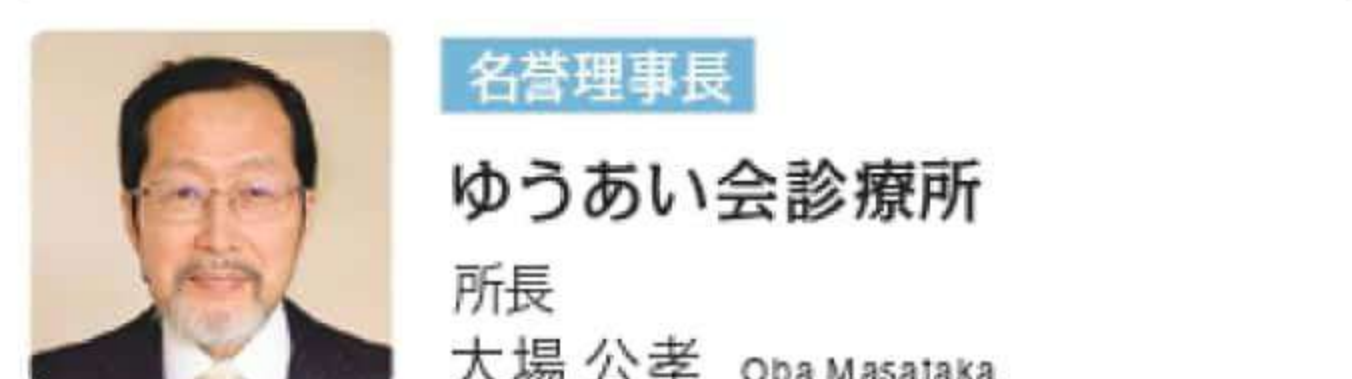
所長 小谷 素美子 Kotani Sumiko



運営会議相談役

ゆうあい会石川診療所

所長 高橋 和俊 Takahashi Kazutoshi



名誉理事長

ゆうあい会診療所

所長 大場 公孝 Oba Masataka



新生園

園長 折目 泰則 Orime Yasunori



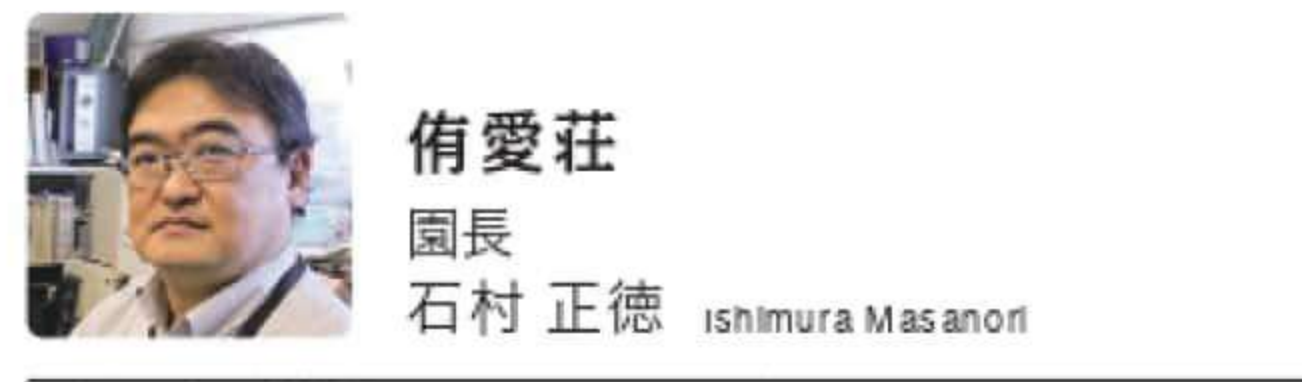
侑ハウス

園長 高田 久嗣 Takada Hisatsugu



ねお・はろう

園長 上川 孝一 Kamikawa Koichi



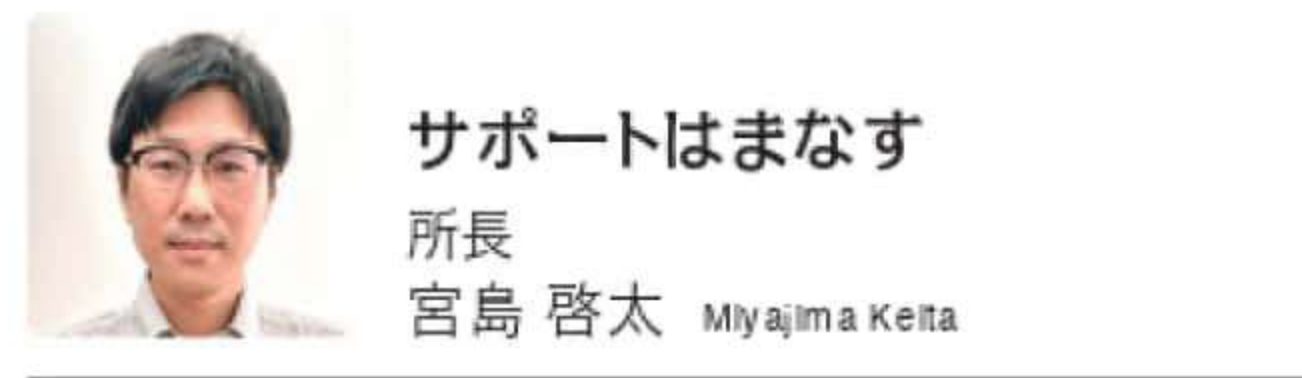
侑愛荘

園長 石村 正徳 Ishimura Masanori



サポートかわつき

所長 紀谷 智彦 Kiya Tomohiko



サポートはまなす

所長 宮島 啓太 Miyajima Keita



サポートすばる

所長 林 経夫 Hayashi Tsuneo



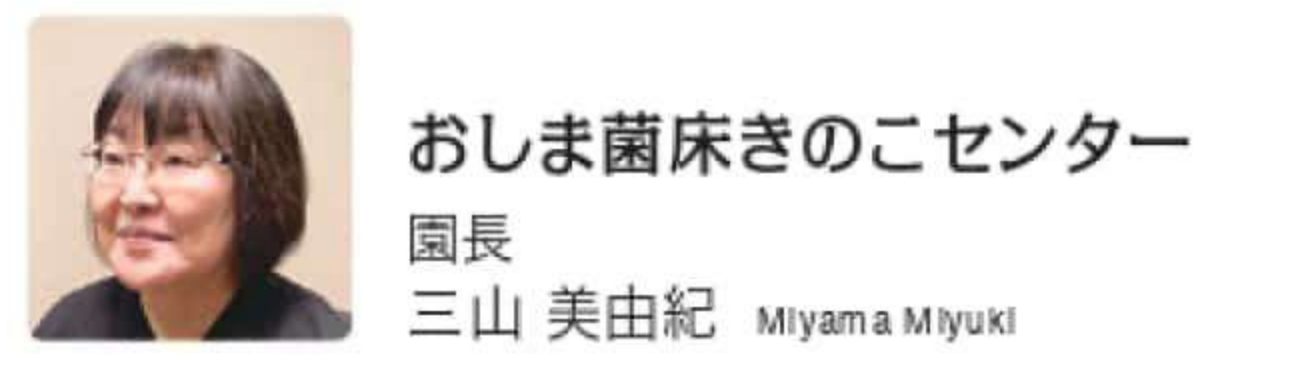
おしま屋

園長 細谷 武浩 Hosotani Takehiro



ワークショップはこだて

園長 井出 尚久 Ide Naohisa



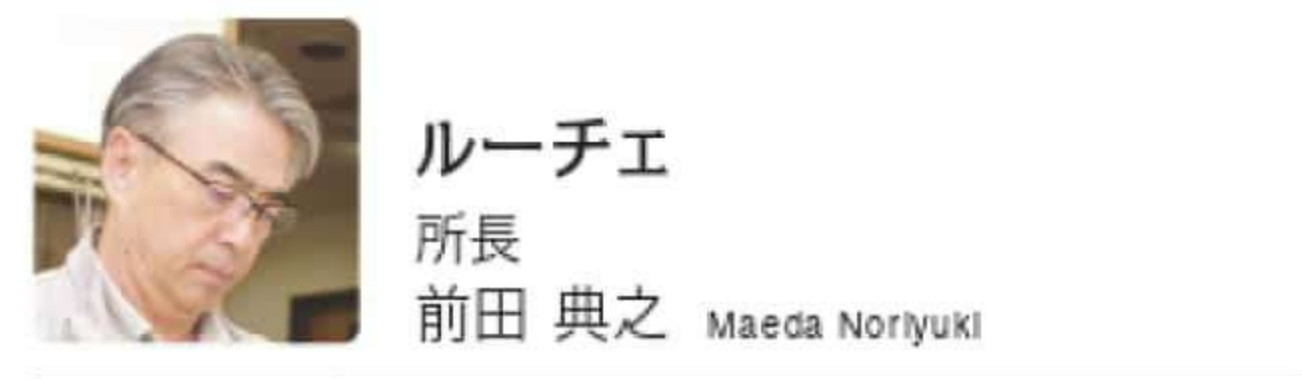
おしま菌床きのこセンター

園長 三山 美由紀 Miyama Miyuki



クッキーハウス

園長 守口 康朗 Moriguchi Yasuo



ルーチェ

所長 前田 典之 Maeda Noriyuki



アシストほくと

所長 河村 吉造 Kawamura Yoshizo



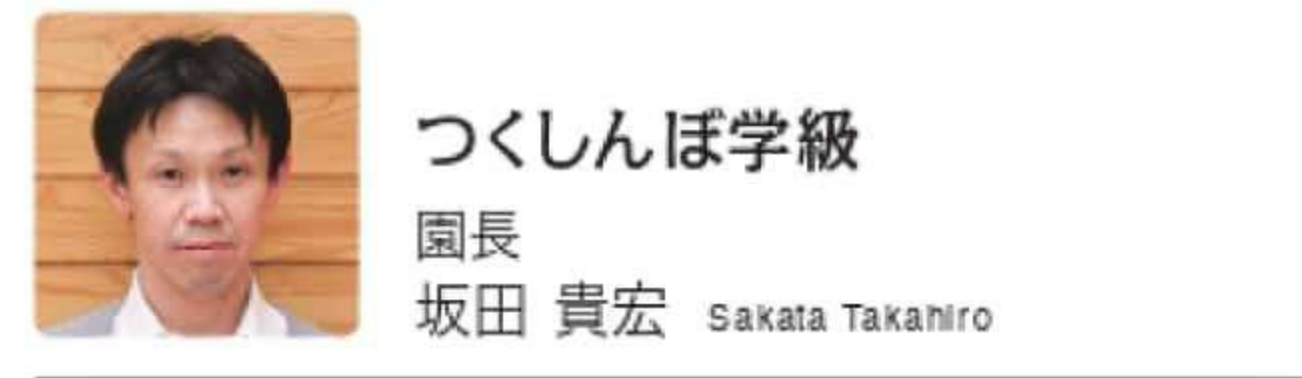
あおいそら

所長 片山 智博 Katayama Tomohiro



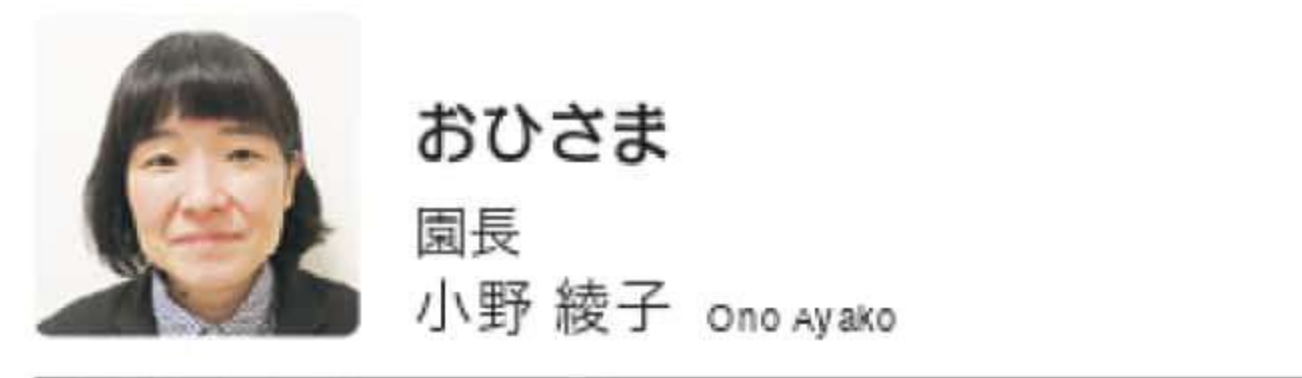
すてっぷ

所長 小笠原 一郎 Ogasawara Ichiro



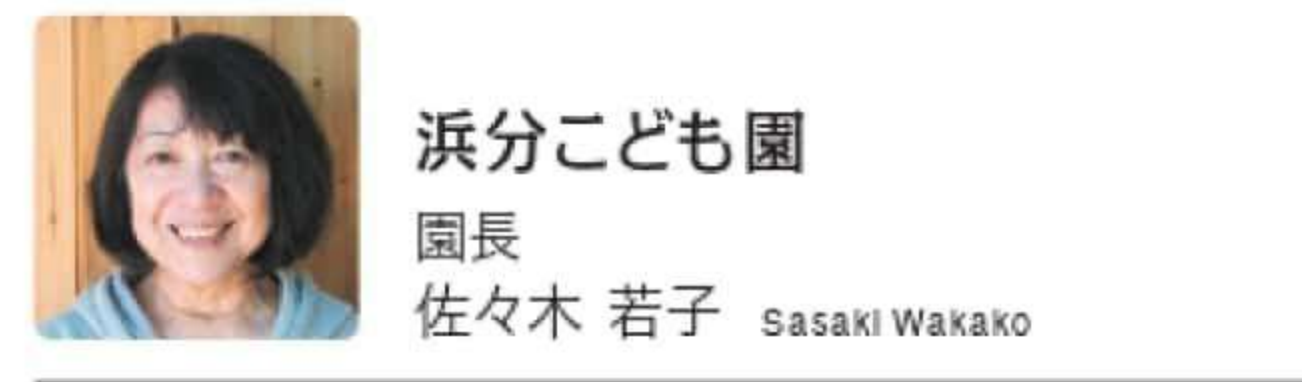
つくしんぼ学級

園長 坂田 貴宏 Sakata Takahiro



おひさま

園長 小野 綾子 Ono Ayako



浜分こども園

園長 佐々木 若子 Sasaki Wakako



七重浜こども園

園長 斉藤 美雪 Saito Miyuki



ゆうあい幼稚園

園長 堀 浩介 Hori Kousuke

2025年度を迎えて

信頼を築き、未来へ共に歩む

社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
理事長 祐川 暢生

「ゆうあい」に関わる皆さま、いつも温かいご支援をいただき、心からお礼申し上げます。2025年度を迎えた私たちは、新たな目標に向かって前進しようとしています。今年度も、「安心して豊かに暮らせる社会」を実現するため、皆さまとのつながりを大切に、地域社会に貢献してまいります。ここでは、今年度、とくに取り組む内容をご紹介します。

利用者の人権を守ること

私たちは、知的障がいのある利用者を含むすべての方々が、安心してその人らしい生活を送れるように支援しています。一人ひとりの「こうしたい」「こうありたい」という気持ちを大切に、その選択を尊重しなければなりません。また、利用者がしっかりと自分の意思を表明できるように、必要な情報をわかりやすく伝える工夫を続けていきます。さらに、不適切な支援や虐待を防ぐために、職員の研修を強化し、安心して支援を受けられる環境づくりを進めていきます。

信頼を取り戻す取り組み

昨年、NHKで報道された一連の事態について、多くの方々にご迷惑とご心配をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。これを機に法人の運営体制を見直し、より透明性の高い仕組みをつくっていきます。不祥事を繰り返すことがないように努力し、誠実に行動しながら、利用者やそのご家族、そして地域社会の皆さまからの信頼を再び築いてまいります。

福祉分野の人材不足への対応

福祉の現場では、職員不足という大きな課題に直面しています。この問題を解決するため、今年から在留資格「特定技能」の外国人職員を迎えることにしました。異なる文化や価値観を取り入れることで、利用者に対する支援の幅を広げ、より多様なニーズに応えることを目指します。また、全職員が協力して温かいチーム環境を作り、新たな仲間を迎え入れる準備を進めていきます。

職場環境の改善と働きやすさ

最近、職員同士のコミュニケーションが不足しがちだと感じています。この課題を解決するために、自由に意見を出し合える場を設け、連携を強化していきます。さらに、新しい技術を取り入れた情報共有システムを導入することで、仕事の効率化と職場の環境向上を目指します。職員全員が安心して働ける環境づくりに取り組んでいきます。

自然災害への備え

毎年発生する自然災害に対して、防災対策をさらに強化していきます。非常時に備えた物資の準備や、対応マニュアルの見直しを進めるとともに、定期的な訓練を通じて災害時の対応力を高めます。また、地域社会と連携し、いざというときに支え合える仕組みを作っていきます。利用者と職員の安全、安心を支える事業所運営を心がけてまいります。

持続可能な法人運営への取り組み

私たちは、職員一人ひとりが健康で安心して働ける環境を提供することが、利用者への良い支援につながると確信しています。そのため、適切な労務管理を徹底するとともに、職員のメンタルヘルス対策を強化する取り組みを進めます。専門家による相談窓口を設置し、定期的なストレスチェックやカウンセリングの実施を通じて、心の健康を守る支援を行います。さらに、職員間のハラスメントを未然に防ぐために、ハラスメント受付窓口を拡充し、迅速かつ公正な対応を徹底します。職場内でのトラブルが早期に解決され、全員が安心して働ける環境を築いていきます。また、私たちは中長期的な視点を持ちながら、事業内容や財務基盤の見直しを行い、地域社会のニーズに柔軟に対応する法人運営を目指しています。変化の多い社会情勢にも対応できる組織体制を整え、持続可能性を高めていくことに努めます。これらの取り組みが、地域社会の多様な期待に応え続けるための基盤となるよう努力を続けてまいります。

職員の皆さんへ

福祉の仕事はやりがいのある反面、心身に負担がかかることもあります。職員の皆さんには、まずご自身の健康を大切に、必要に応じてしっかり休み、困ったときには周囲に相談してください。全員が安心して働きながら、利用者に対して真心のこもった支援を提供できるよう、職場環境を整えていきます。今年も、「安心して豊かに暮らせる社会」を目指し、全職員で力を合わせて取り組んでまいります。皆さまの温かいご支援とご協力を、引き続きよろしくお願い申し上げます。

＼ 祐川理事長ってこんな人 /

経歴 1965年11月、函館市元町で、カトリック教会、ハリストス教会、聖ヨハネ教会、東本願寺など、各宗派の聖堂が建ち並ぶ真ん中で生まれました。その後、西部地区の小・中学校、函館市立東高校(現・函館市立高校)を卒業。老人福祉の仕事を経て、2006年、縁あって侑愛会に就職しました。

モットー 「明るく、暗れやかに、誠実に」 これ以外あまり取り柄がありません。

性格 生真面目・いいかげん・小心者・怒りっぽい・素直 要するに自分でもよくわかりません。

趣味 読書 いまや趣味なのか仕事の一部なのか分からなくなりましたが。

家族 同居しているのは妻と義母。一人娘が大学入学でこの春家を出ました。

理事長 ごあいさつ

HELLO! YUAI



ゆうあい会診療所での診察風景

就任のごあいさつ

このたび、大場公孝前理事長のあとを引き継ぎ、社会福祉法人侑愛会・学校法人ゆうあい学園の理事長を務めることになりました祐川暢生(すけがわ のぶお)です。侑愛会の長い歴史と伝統を受け継ぎ、その責任をしっかりと果たし、みなさんと力を合わせて、地域社会のためにがんばっていきたいと思っています。

侑愛会は、これまで利用者の方々を中心に支援をおこない、地域の福祉を支えてきました。先輩たちが築いてきた実績と信頼は、私たちにとって、とても大切なものです。それを守りながら、次の世代にしっかりとつなげていくのが、私の大事な役目だと思っています。

しかし社会は今、どんどん変わりつつあります。高齢化や福祉のニーズの変化、新しい技術や考え方など、私たちのまわりの状況は毎日少しずつ変わり、多様化しています。障がい者福祉の分野も、幼児教育の分野も、新しい課題に直面しています。私たち侑愛会は、時代に合わせて柔軟に変わっていく必要があります。課題に向き合い、工夫を重ねながら、これからの侑愛会をみなさんと一緒につくっていきたいと思います。

侑愛会の「愛」という言葉は、私たちの活動の中心にあります。利用者の方には安心して暮らせる毎日を、職員の方には働きやすさや笑顔、地域のみなさんにはつながりや協力を。侑愛会がいつまでも「愛」にあふれた場所であるよう、心を込めて取り組んでまいります。

ちなみに、私の名前「暢生」の「暢」という字には、“のびのび”という意味があります。「暢気(のんき)」と書くこともあります。理事長としての責任にプレッシャーを感じないと言えウソになりますが、亡き父が「のびのび暢気に生きなさい」とつけてくれたこの名前を大切にしながら、肩の力を抜いて、前向きにこれからの仕事に取り組んでまいります。

侑愛会がこれからも地域にとってなくてはならない存在であるためには、みなさんのご支援が必要です。これまで同様、これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 祐川 暢生

副理事長就任のご挨拶



このたび、社会福祉法人侑愛会、ならびに学校法人ゆうあい学園の副理事長を拝命いたしました、中野伊知郎です。今回、このような身に余る大役に責任の重さを感じるとともに、これまで支えてくださった皆さまへの感謝の気持ちでいっぱいです。

平成5年に星が丘寮に入職して以来、知的障がいの伴った自閉症の方々の支援を通じてたくさんの方の生活を学ばせていただきました。そして、ご家族を始め、様々な方々とのつながりがあって、今の自分があるのだと思います。法人理念にも掲げている、インクルーシブという言葉には「包みこまれた状態」という意味があります。すべての人が社会や組織の一員として属しており、すべての人が自分らしくいられる場や帰属意識を持ち、すべての人が個性や能力を発揮して活躍できる環境を作りたいと思います。そのためには、沢山の方々とのつながりをこれからも大切にしていきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



退任のごあいさつ

2025年3月末をもちまして、社会福祉法人侑愛会・学校法人ゆうあい学園の理事長を退任して名誉理事長に就任いたしました。

理事長に就任以来27年間にわたり職責を全うできたのは、「ゆうあい」の利用者の皆さん、ご家族の皆さん、職員の皆さん、地域の皆さんのおかげと心から感謝しております。

1998年(平成10年)に理事長に就任しました。最初にしたことは、オンブズマンの導入。職員の利用者の皆さんへの言葉遣いを変えたいと思いました。

次に、自閉症の療育と自閉症啓発、地域連携が大きな課題でした。TEACCHの導入と研修会の開催、2013年(平成25年)世界自閉症啓発デー in Hakodate初開催、現在のものに繋がっています。地域連携では、自閉症センターが発達障害者支援センターあおいそらとなり、障害者生活支援センターぱすてる、道南しょうがい者就業・生活支援センターすてつぶが同一の建物に結集し、ワンストップの総合相談センターになりました。

医療では、生活習慣病検診とがん検診、ワクチン接種、新型コロナウイルス感染症では対策委員会を早期に立ち上げました。石川診療所では、高橋Dr.のもと、早期診断・リハビリスタッフの療育体制を執っています。

「ゆうあい」の利用者・職員の皆さんに会い、仕事ができたと感謝します。多くの利用者・職員の皆さんの顔を思い浮かべることができたのが、私の手柄でした。

去年は、法人の課題が浮き彫りになってきました。職員不足、従来の福祉では対応できない時代となり、人事課や危機対応課の創設、業務省力化、労務管理の徹底、ハラスメント対応、メンタルヘルス、施設定員規模の見直し・・・などが必要になっています。

もう一つ、管理職も含め職員の皆さんには余裕が必要で、あらゆる見直し、省力化で、プライベートの時間を作ってほしいし、そのような法人にならなければならないと思っています。作り直すことが新しい「ゆうあい」に繋がります。



2025,1,1函館の夜明け

2025年4月、祐川暢生理事長、中野伊知郎副理事長(総合施設長)が誕生します。

彼らの船出は多難なものとなりましたが、大きな危機は将来へのチャンスでもあります。

「私たちは誤りや無知を正し、常に前進していく法人でありたいと願っている。そのためには努力をおしまない覚悟である。」(2024,12,14理事長の内定者へのメッセージより)

これから「ゆうあい」を見守っていきたいと思います。感謝とともにどうぞご協力をよろしくお願い致します。

名誉理事長 大場公孝



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp